

審議会等の会議録

審議会等名	令和7年度第2回海老名市社会教育委員会議
開催日時	令和7年7月29日（火）10時から12時まで
場所	えびなこどもセンター 201 会議室
出席者	<p>社会教育委員10名 橋本議長、金田副議長、栗山委員、里村委員、三田委員 鈴木委員、中谷委員、中野委員、松島委員、和田委員</p> <p>事務局7名 教育長 伊藤 文康 教育部長 江下 裕隆 教育部次長 吉川 浩 教育部参事兼学び支援課長 田中 歩 学び支援課学び支援係長 永田 祥子 学び支援課副主幹兼指導主事兼社会教育主事 重岡 慎一朗 学び支援課学び支援係主事 小島 和也</p>
傍聴人数	0名
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開 <input type="checkbox"/> 非公開
一部非公開・ 非公開の理由	
議題	<p>(1) えびなっ子ふれあいフェスタ・えびなっ子いきいきシンポジウムについて</p> <p>(2) 関東甲信越静神奈川大会における分科会発表について</p> <p>(3) 次期社会教育計画について</p>
資料	<p>(1) 次第</p> <p>(2) 席次表、出席者名簿</p> <p>(3) えびなっ子ふれあいフェスタ・えびなっ子いきいきシンポジウムについて</p> <p>(4) 関東甲信越静神奈川大会冊子用原稿案</p> <p>(5) 海老名市社会教育計画について</p>

○会議の内容

1 開会	
【事務局】	定刻となりましたので、令和7年度第2回海老名市社会教育委員会議を開会いたします。 これより前回ご欠席された委員の方へ委嘱状の交付を行います。
2 委嘱状交付	
【教育長】	(伊藤教育長より委嘱状交付)
3 あいさつ	
【事務局】	それでは、開会にあたり橋本議長からご挨拶をお願いいたします。
【議長】	(橋本議長あいさつ)
【事務局】	続きまして、伊藤教育長よりごあいさつ申し上げます。
【教育長】	(伊藤教育長あいさつ)
【事務局】	それでは、これより議事に入ります。橋本議長、議事の進行をお願いいたします。
4 議事	
【議長】	それでは、議事を進めます。 1点目、えびなっ子ふれあいフェスタ・いきいきシンポジウムについて事務局より説明をお願いします。
【事務局】	(えびなっ子ふれあいフェスタの参加依頼団体やいきいきシンポジウム実施内容案等について説明)
【議長】	委員のみなさまからご意見・ご質問等ありますか。
【委員】	(意見等特になし。)
【議長】	それでは、11月の開催に向けて、9月には募集を開始できるよう委員のみなさまと力を合わせて進めていければと思いますので、引き続きよろしくをお願いします。続きまして、2点目、関東甲信越静神奈川大会における分科会発表について、事務局から説明をお願いします。
【事務局】	(神奈川大会の概要、参加申込について説明) (大会冊子用原稿案について説明)
【議長】	それでは、分科会発表のリハーサルをしますので、お聞きいただいた後、委員のみなさまからご意見をお願いします。 (発表のリハーサル)
【委員】	発表の時間に収まっているのか。長い気がする。時間調整のために海老名市の紹介などは省いてもよいのでは。
【委員】	スライドの写真の枚数に対して、説明が長いので、写真を多くしたらどうか。社会教育関係者に向けて発表するのだから、みなさん社会教育に対して理解がある前提で話してもよいのかなと思う。 海老名の紹介は、海老名のPRになるから、よいと思う。

【委員】	<p>スライドに映っている文字を読んだり、写真のところで説明を入れたりするとわかりやすくなると思う。</p> <p>シンポジウムのトークセッションの時にも、子どもたちが海老名はいいところ、と言っていたので、海老名の紹介はあってよい。</p>
【委員】	<p>海老名サービスエリアは有名だと思うので、国分寺などの文化的なものを紹介したらどうか。</p>
【委員】	<p>この分科会の目的が社会教育委員に何ができるかというのを考えてもらうことなので、最後の成果と課題をもっと明確にしてはどうか。他地区の方と課題について共有できるとよいと思う。</p>
【委員】	<p>次回のリハーサルはいつなのか。</p>
【議長】	<p>9月の県社会教育委員連絡協議会の研修会の際にリハーサルが予定されている。いただいたご意見を参考に、発表内容を見直して臨む。</p> <p>では、3点目、次期社会教育計画について事務局から説明をお願いします。</p>
【事務局】	<p>(次期社会教育計画 めざす大人の姿について説明)</p>
【議長】	<p>子どもの姿に迫るために、どのような大人の姿を見せていくか、という視点で考えていくのはどうか。</p>
【委員】	<p>そういう視点もあるが、大人自身の人生を豊かにしていってほしい。自分の人生を豊かにしていくような文言があるとよい。私自身、知り合いに誘われて参加したところから、つながりや活動の幅が広がった。</p>
【委員】	<p>大人だけを対象にしている団体も社会教育関係団体という認識で間違いはないか。</p>
【事務局】	<p>間違いでない。</p>
【委員】	<p>子どもを介しての活動だけではなく、大人自身が楽しんでいる団体も社会教育と理解していくと考えやすい。</p>
【委員】	<p>そういった団体は高齢化が問題となっている。もう少し若い人にどんどん入っていただきたい。</p>
【委員】	<p>地域でもあいさつし合える関係になることが大切。最初は知らない関係でもあいさつをきっかけにつながりができるが、難しい現実がある。地域の人をどうやって育てていくか。</p>
【委員】	<p>つながりというものが切れてきている。つながりが大事と言いながら、つながれる場に出ない方が多い印象。</p>
【委員】	<p>自分たちの世代と若い世代では、つながり方が変わってきている。考え方を押し付けてもダメ。活動をつなげていくために長く活動しているが、ずっと同じ人が担っている、ということが間違いなのではないかと最近思うようになってきた。</p>

【委員】	<p>若者もきっかけがあれば、つながれる。つながりを楽しめれば、社会人になってからも様々な方と積極的に関わりをもてる。子どものうちにそういった経験をさせることが大切だと感じる。</p> <p>大人もきっかけがつかめないだけではないか。関わる機会をつくっていけば、自然とつながっていくのでは。</p>
【委員】	<p>地域に何があるか、どんなことをしているか、ということをもう少し発信出来たらいい。</p>
【委員】	<p>「誘われる」というのもきっかけになる。声をかける、というのも大事。</p>
【委員】	<p>育休などを取得している時期に地域と関わりがつくれているといい。でも、地域の子どもへの声掛けなどは難しいところがある。</p>
【委員】	<p>町内会での呼びかけや近所での誘い合いから始まっている活動も多くある。今、参加してみようかな、と思えるイベントがどれぐらいあるか、ということが問題。昔はそういったチャンスが多くあった。</p>
【委員】	<p>つながりをつくるのが目的なのか。活動の結果、つながりができると思う。でも、地域で活動するにも個人では難しく、肩書などがなくて活動しづらい現状がある。気軽に参加できる、活動できる仕組みをつくっていくことも大切。</p>
【教育長】	<p>学び、という観点がすごく重要であり、学校以外で学ぶ場所、義務教育が終わっても、社会教育の中でみんなで大人を育てましょうという感覚。自分で学んだりする場があることが重要で、つながりは、そのことで出来上がる、副産物のようなもの。そういう場がちゃんとあるかどうかということがすごく大事。でも、そこに行かない、参加しないことも当然選択肢としてはあるもの。</p>
【委員】	<p>②の地域活動というと自治会とか少し狭くなってしまいうイメージがあるので、「地域の活動」「地域における活動」などにするとわかりやすいのではないか。</p>
【委員】	<p>「好き」というのが出発点になっていると思う。</p>
【委員】	<p>行ったら何かやらされる、と思うと尻込みする。主体性をどう引き出していくか。</p>
【委員】	<p>大人になると、時間は限られるが自分で選択できるようになる。子どもたちは選択権があるようでない。子どもにも「好き」を見つける機会を継続してつくっていくことが大切。</p>
【委員】	<p>スポーツチャレンジデーやスポレクフェスタなどを開催し、いろいろな種目をちよつとずつ体験できる機会をつくっている。学校区ごとで実施できると参加しやすくなると感じている。</p>

【副議長】	<p>学校での単発ボランティアだったらやってくれる方もいる。継続していくにも、やはり誘われる機会が大事。子どもを中心にしてつながりが広がっていく、結果、地域でも輪ができていくということがある。</p> <p>いくつか大人の姿を掲げるより、大きなものを掲げ、そこを目指していくのがよいのかなと思った。</p>
【委員】	<p>関わるのが正義である、と押し付けると反発する方もいる。④の「積極的に」という言葉もない方がよい。いろいろな考えを認めていく必要があるということ为前提にして考えることがよいと感じる。</p>
【議長】	<p>たくさんのご意見をいただき、新しい気づきもあった。いろいろな立場や考え方を一つにまとめるので、具体的な表現にはならないかもしれないが、めざす姿を5つ掲げることにこだわらず、皆さんの意見を言語化して大人の姿を考えていきたい。</p>
【事務局】	<p>手立てにつながるご意見もたくさんいただいたので、次回の会議までにご意見をまとめさせていただく。</p>
【議長】	<p>活発な意見交換ありがとうございました。策定に向け、次回会議でも引き続き話し合いをしていきますので、よろしくお願ひします。</p> <p>全体を通してご意見・ご質問等ありますでしょうか。特になければ、進行を事務局にお返しいたします。</p>
4 その他	
【事務局】	<p>橋本議長、議事の進行ありがとうございました。次回の会議については、令和7年10月8日(水)午後2時からを予定しております。別途案内を送付いたしますので、ご確認いただきますようよろしくお願ひいたします。</p>
5 閉会	
【事務局】	<p>閉会のごあいさつを金田副議長からいただきたいと思ひます。</p>
【副議長】	<p>(金田副議長あいさつ)</p>
【事務局】	<p>これもちまして、令和7年度第2回海老名市社会教育委員会議を閉会いたします。</p>